

教育委員県外視察研修 過去の研修状況

ア)平成27年度 …10月14日(水)～15日(木)

◎兵庫県姫路市教育委員会(姫路市立総合教育センター、野里小学校)

- ・ICTを活用した教育の効果、整備状況
- ・小中一貫教育について
- ・学校サポート・スクラムチームの導入
- ・スクールヘルパー制度

◎鳥取県岩美町教育委員会(岩美中学校)

- ・ICTの取り組み、整備利活用状況

イ)平成28年度 …11月16日(水)～17日(木)

◎日野町教育委員会

- ・保小連携について

◎島根県雲南市教育委員会

- ・フッ化物洗口の取り組み

◎香川県直島町教育委員会(直島小学校訪問、研究授業参観)

- ・英語教育の取り組み

ウ)平成29年度 …10月12日(木)～13日(金)

◎大山町教育委員会

- ・通学合宿の取り組み

◎岡山県備前市教育委員会

- ・ICT教育の促進

◎徳島県阿波市林小学校

- ・外国語教科化の取り組み

エ)平成30年度 …10月11日(木)～12日(金)

◎岡山県総合教育センター

- ・プログラミング教育の導入について

◎徳島県立総合教育センター

- ・学校全体で取り組むポジティブ行動支援について

◎伯耆町教育委員会

- ・コミュニティスクールの導入について

オ)令和元年度 …10月16日(水)～17日(木)

◎堺市教育委員会

- ・眠育の取り組み

◎奈良県明日香村教育委員会、NPO 法人楽スポあすか

- ・部活動とスポーツクラブの連携について

◎兵庫県立播磨西小学校、播磨町教育委員会

- ・プログラミング教育の取り組み(授業参観)

カ)令和2～4年度 …実施見送り

- ・候補地 島根県美郷町、雲南市：ICTの取り組み、タブレット利活用状況

◎令和4年度 教育委員視察研修候補地

テーマ：不登校対策について

<鳥取県境港市>

(選定理由)

- ・教育と福祉との連携を以前から進めている。
- ・近年、医療、警察等とのつながりも強化している。
- ・要保護児童対策地域協議会の充実に力を入れている。
- ・子どもの支援に係る重層的支援体制の構築が進んでいる。
- ・学校は他機関と組織的・継続的な連携を図ることができている。

<鳥取県米子市>

(選定理由)

・長期間通学できていない児童生徒のために、学校や家庭以外の居場所・学びの場として、「米子市教育支援センター～ぷらっとホーム～」を令和4年8月に開所するなど、不登校や引きこもりをはじめとする多様な教育課題の解決に向けての取り組みを行っている。

北条中学校「制服のあり方」に関する基本的方針（案）

北条中学校では、標準服（以下、制服）として、男子は詰襟の学生服、女子はセーラー服を着用してきた。生徒や保護者また、地域住民に学校のシンボルの一つとして親しまれ、それが愛校心や連帯感の醸成に役立っている。

しかしながら、現在の制服は、保護者の負担軽減、登下校を含め夏季時期の過ごしやすさや安全性、性的マイノリティの方々への配慮やジェンダーの平等の視点から課題がある。

北条中学校では、令和4年度から保護者代表等を委員とした「制服検討委員会」を設置して、諸課題の解決に向けて検討を行ってきた。「小中学校保護者アンケート」を踏まえ、このたび「北条中学校「制服のあり方」に関する基本的方針」を策定した。

今後、この基本的方針をもとに、経済的負担の軽減、多様性への配慮、機能性の向上等を勘案して、新制服の導入に向けて準備を進めるとともに、リユースをはじめ環境負荷軽減につながる取り組みも検討していく。さらに、制服そのもののあり方について、他市町村の事例を研究し、生徒・保護者等の意見も伺いながら、議論を深めていく。

記

1、新制服の導入について

導入に際しては、児童・生徒及び保護者の意見を十分に取り入れられる時間と場が必要である。また制服取扱店の準備期間の確保のため配慮が必要である。以上のことから、新標準服の導入時期は令和6年4月を目標とする。

2、導入における配慮について

上記の諸課題並びに児童・生徒、保護者の要望にできる限り対応するために、下記のことと配慮しながら新しい制服の導入・選定する。

■機能的配慮

- ・近年の気温の上昇、空調導入等による気温差に対応しやすく、また、様々な活動の支障にならない動きやすいデザイン、生地等とする。
- ・耐久性にすぐれ、洗濯やアイロンなど家庭でのケアがしやすい素材等を採用するとともに生徒の成長に対応できる仕様とする。
- ・夏服を通気性のよいポロシャツにするなど猛暑に対応したものとする。

■生徒への配慮

- ・スカートやスラックス、キュロット等が自由に選べるなど男女差のないもの等の導入により、性差のある制服を着用することに負担がある生徒への配慮を行う。
- ・防犯面からも学校名、氏名の刺繍以外での氏名表示方法を検討する。

■経済的な配慮

- ・現行もしくは現行以下の価格設定をめざす。
- ・大手メーカーの既製品の導入も検討する。

- ・ 現行の制服に愛着を持つ生徒へ配慮するとともに個人的な制服の譲り受けを考慮し、移行（混在可）期間を導入初年度から3年間とし、新1年生においても新旧標準服が混在する期間とする。導入4年後の入学の1年生から全員新標準服とし、導入後6年目から全学年の生徒が新標準服となるようにする。
- ・ シャツ等については、学校マークなど刺繍等を不要にし、どのメーカー既製服でも着用可にするなど安価で購入できる方法を検討する。
- ・ 制服バンクなど制服リユースの仕組みを検討する。

■その他の配慮

- ・ デザイン選定などの時に児童生徒・保護者の意見が反映できるようにデザインアンケート等を実施する。
- ・ カーディガン着用や子どもたちが望む取り組みを推進する。

【移行期間の標準服 イメージ】 今後検討

	1年生	2年生	3年生
令和6年度（1年目）	混在可	混在可	混在可
令和7年度（2年目）	混在可	混在可	混在可
令和8年度（3年目）	混在可	混在可	混在可
令和9年度（4年目）	新制服のみ	混在可	混在可
令和10年度（5年目）	新制服のみ		混在可
令和11年度（6年目）	新制服のみ		

※移行期間については、今後検討する。

制服改定について

● これまでの経緯

令和4年3月：メーカー（カンコー学生服）に情報収集のため連絡

6月：北条中学校制服検討委員会委員の募集（PTA）

9月：第1回制服検討委員会（PTA）

第2回制服検討委員会（PTA）

メーカー（カンコー学生服）が来校。

制服に関する勉強会

● 改定スケジュール

10月上旬～中旬

- ・制服の改定についてアンケートを行なう。小中保護者
賛成多数の場合は以下のスケジュールで進める（R6実施の場合）

11月

第3回制服検討委員会（PTA）11/24

- ・アンケート結果の確認
賛成多数により、制服を変更する。今後のスケジュールについて検討確認
- ・PTA広報誌12月冬号に、制服検討について掲載

1月

- ・小中保護者へのお知らせ文書配付（制服を変更すること等）
- ・校内制服検討委員会の結成
（校長、教頭、学年主任、PTA会長、小中保護者代表、事務 他）
- ・メーカー選考方法の検討
- ・新制服のデザイン、素材、価格、販売についての条件などの検討

2月

第1回校内制服検討委員会2/9

- ・新制服のデザイン、素材、価格、販売についての条件などの検討
- ・北条中が考える新制服のコンセプト（デザイン、素材、価格、その他条件など）を「仕様書」にまとめる。

3月

- ・業者にプレゼンテーションと提案書の準備を依頼する。

5月【業者説明会】 5/2

- ・制服業者による業者説明会を開催し、業者によるプレゼンを行なう
2社参加 山陰菅公学生服株式会社、株式会社トンボ
- ・各社の提案を基にメーカーを決定する。

株式会社トンボに決定



5月

第2回校内制服検討委員会 5/11

- ・基本デザインを決定する。 試作見本を作成
- ・試作見本での細部点検。
- ・ボタン、ホールマークデザイン募集（生徒）

6月 6/9 同日公開参観日

- ・生徒、保護者に見本を提示、 小学校にも依頼
いくつかの案（3つ）の中で投票を行なう。



【展示準備】

【中学校】

【小学校】

第3回校内制服検討委員会 6/13

- ・投票結果より、制服デザインを1つに決定
- ・ボタン、ホールマークデザインについて検討
3案に
- ・リボン、ネクタイについて、試作を依頼



7月

第4回校内制服検討委員会 7/

- ・ボタン、ホールマークデザインの見本完成
- ・リボン、ネクタイの見本完成
3案に絞る

- ・小中期末懇談時に見本を提示。 投票を行う。

- ・第5回校内制服検討委員会 → **新制服について決定!**

その後

保護者へのお知らせ文書配付。

新入生保護者説明会の開催。地域への広報。販売店、販売方法の決定、確認。